

教育研究業績書

2023年10月23日

所属：建築学科

資格：教授

氏名：鳥巢 茂樹

研究分野	研究内容のキーワード
建築構造設計, 構造振動解析, 木質空間構造	建築構造設計, 振動解析, グリッドシェル, レシプロカル構造
学位	最終学歴
工学修士	京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導	2022年10月～2023年2月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、紙管および足場板を用いた組立て解体可能な創作茶室2作品の制作を指導。
2. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導	2022年5月～2022年8月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、竹編みによる組立て解体可能な創作茶室2作品の制作を指導。
3. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導	2021年10月～2022年2月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において組立て解体可能な創作茶室の制作を指導。三方格子構造と木質曲面壁構造の2作品を制作。
4. 創作茶室の制作指導	2021年5月～2021年8月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、小径材を用いたセルフビルドの創作茶室の制作を指導。付随する技術演習Bの構造も同時に担当。
5. 折板積層構造のタワーの制作指導	2020年10月2021年2月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において折板ユニットを積層した塔状モニュメントの制作を指導
6. 木製テンセグリティ構造のタワーの制作指導	2020年10月2021年2月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において木製テンセグリティ構造のタワーの制作を指導
7. レシプロカル構造のスパイラルタワー制作指導	2020年10月2021年2月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」においてレシプロカル構造の螺旋状塔体の製作を指導
8. 竹編みシェル構造のベンチの制作指導。	2019年10月～2019年02月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において竹編みシェル構造のベンチの制作を指導。
9. 折畳み可能なレシプロカル構造の茶室の制作指導	2019年05月～2019年08月	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において折畳み可能なレシプロカル構造の茶室空間の制作を指導。日本建築学会主催：学生グランプリ2019「銀茶会の茶席」コンペに出品し、優秀賞を受賞。
10. モルタル製シェルの茶室の制作指導	2018年11月～2019年2月	大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間構築」においてラスモルタル製シェルおよび竹製グリッドシェルを用いた茶室空間の制作を指導。
11. 木質HPシェルのタワーの制作指導	2018年05月～2018年08月	大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間構築」において木質HPグリッドシェルを組合せたタワーの制作を指導。
12. グリッドシェル構造の小建築空間の制作指導	2017年11月～2017年02月	大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間構築」において木質グリッドシェル構造を用いた小建築空間の制作を指導。
13. レシプロカル構造のドームの制作指導	2017年05月～2017年08月	大学院修士課程「建築設計総合演習III：原寸大の空間構築」においてレシプロカル構造を利用した直径12mのドーム架構他の制作を指導。
14. テンセグリティ構造のタワーとテントの制作指導	2016年11月～2016年02月	大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間構築」においてテンセグリティ構造によるタワーおよびテンセグリティ構造の支柱を有する膜構造テントの制作を指導。
15. 折り紙構造によるタワーと照明シェードの制作指導	2016年05月～2016年08月	大学院修士課程「建築設計総合演習III：原寸大の空間構築」において折り紙構造を利用した折り畳み式タワーおよびマジックボール折り紙の変形する照明シェードの制作を指導。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
16. 折り紙構造によるドームの制作指導	2015年05月～2015年07月	大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅲ：原寸大の空間構築」において吉村折りを用いた折り紙構造のドームの制作に挑戦。付随する技術演習Ⅲの構造を担当。 大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅲ：原寸大の空間構築」においてシザーズ構造による折畳み式ボルト骨組みの制作に挑戦。付随する技術演習Ⅲの構造を担当。
17. シザーズ構造骨組のボルトテントの制作指導	2014年05月～2014年07月	
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 入学試験合格者を対称とした入学前教育	2022年12月18日	大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」に於いて制作した創作茶室を出品し、優勝賞（全国2位）を受賞。 年1限担当
2. 日本建築学会主催：学生グランプリ2019「銀茶会の茶席」コンペ 優秀賞受賞	2019年10月6日～2019年10月6日	
3. 附属高校生対象の入学前教育授業	2016年02月～2019年02月	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 構造設計一級建築士	2009年05月15日	
2. 一級建築士	1981年02月14日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会 課題検討WG	2010年04月03日～2011年03月22日	
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. なびくみち あままで 届き うづもれぬ - 保久良山道 保全計画 -	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表したものの。保久良神社西側の土砂災害警戒地区である急斜面地を擁壁と排水設備および植栽で安定化を図ると共に、参道として建築化する計画。
2. 景観建築スタジオ西館 - 武庫川女子大学景観建築学科新校舎 その3 -	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	景観建築スタジオ西館の作品発表。設計に関わった建築学部教員との共著。
3. おおさかニューロジ計画 一開削による表裏共存の提案	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表したものの。大阪西区京町堀界隈の古い街並を、開削するように新しく路地を設け、路地に建物内部が露出、滲出させることで、街の活性化を図る計画。
4. 組立解体可能な創作茶室「翳式庵」	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した三方格子架構による創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
5. 組立解体可能な創作	共	2022年7月	日本建築学会大会	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した木質シェル構造の

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
茶室「緑光庵」			学術講演梗概集, 建築デザイン	創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
6. 景観建築スタジオ東館 武庫川女子大学 景観建築学科新校舎 その1~その2	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	景観建築スタジオ東館の作品発表(2編に分割)。設計に関わった建築学部教員との共著。
7. <建築空間と風景>の「両義性」についての一考察 増田友也の思惟を通して	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。増田友也著を通じて、建築空間と風景に於ける両義性についての増田の思惟を、考察するもの。(その2)
8. 住宅の空間構成における内外のつながり —建築家アルヴァ・アアルトの建築作品を対象として—	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築計画	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築家アルヴァ・アアルトの住宅作品の空間構成を分析し、内部空間と外部空間の接続に於けるヒエラルキーを明らかにするもの。
9. 阪神地域の原風景についての一考察—勅撰和歌集16集を通して—	共	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築計画	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。勅撰和歌集16集に於いて阪神地区を詠った和歌の分析から、阪神地区の現風景を明らかにするもの。
10. 線型微小変形理論におけるCauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反について—その2	単	2022年7月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造 I	線型弾性体の古典的微小変形理論に於ける、Cauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反を指摘するもの。(その2)
11. 建築空間と風景の「両義性」についての一考察 —増田友也の思惟を通して—	共	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。増田友也著を通じて、建築空間と風景に於ける両義性についての増田の思惟を、考察するもの。(その1)
12. 須磨の原風景についての一考察 —勅撰和歌集16集の分析を通じて—	共	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。勅撰和歌集16集に於いて「須磨」を詠った和歌の分析から、須磨の現風景を明らかにするもの。
13. 線型弾性体の微小変形に於けるCauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反について	単	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系	線型弾性体の古典的微小変形理論に於ける、Cauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反を指摘するもの。(その1)
14. 重奏する都市 音風景から感じる場所	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。都市の音風景をテーマに、神戸フラワーロードに面した複合施設作品。
15. 菅島採石場跡1000年再生計画	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。岩盤が露出し放置された菅島採石場跡を1000年の時間スパンで森を再生する計画案。
16. モノ・ボリの森 自立的な学びがうまれる小中学校	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。モンテッソーリ・メソッドを目指す小中一貫校の設計作品。
17. 伝統の襲 金沢・国際伝統工芸プラチナ館	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。木質ハイブリッド構造の大スパン曲面屋根を架けた、金沢の伝統工芸を継承・展示・販売するための施設。
18. 建築構成における光に関する一考察 建築家ルイス・バラガンの住宅作品を対象として	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。ルイス・バラガンの住宅作品を収集し、空間構成と光環境について分析したもの。
19. 楨文彦による「パブリックスペース」における「都市の孤独」について	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された楨文彦の建築作品および言説を収集し、楨文彦の「パブリックスペース」における「都市の孤独」を明らかにしたもの。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
20. 木質ハイブリッド構造の活用意義に関する研究 2000年代における「新建築」の事例を通じて	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された木質ハイブリッド構造の建築を収集し、その使用目的を分析したものの。続編。
21. 音風景』についての研究 『古今和歌集』の音表現における情緒の分析を通じて	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。古訓和歌集に収録の和歌に詠まれた「音」から、古代の音表現における情緒を分析したものの。
22. モンテッソーリ・メソッドにおける人格形成のための環境についての一考察	共	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。モンテッソーリの著書からモンテッソーリ・メソッドに於ける人格形成のための環境を明らかにしたものの。
23. 幾つかの数学定理と応用力学の関係についての一考察	単	2021年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I	グラフ理論、quaternion、Ham-sandwichの定理、Hairy-ballの定理の定理、Hadamardの拡散現象と力学の関係を考察。
24. 槇文彦の建築作品における「パブリックスペース」の構成に関する研究	共	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された槇文彦の建築作品および言説を収集し、槇文彦の「パブリックスペース」の空間構成を分析したものの。
25. 「音風景」についての研究 『古今和歌集』における音源の分析を通じて	共	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。古訓和歌集に収録の和歌に詠まれた「音」から、古代の「音風景」を分析したものの。
26. モンテッソーリ・メソッドの個と集団観を通じた人格形成についての一考察	共	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。モンテッソーリの著書からモンテッソーリ・メソッドに於ける個と集団観を明らかにしたものの。
27. 「木」の活用目的に関する研究-2000年代における「新建築」の木質ハイブリッド構造の事例を通じて	共	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された木質ハイブリッド構造の建築を収集し、その使用目的を分析したものの。
28. 弾性体のベクトル・ポテンシャルと波動についての覚書き	単	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系	慣性力場のHelmholtz分解から、体積歪と回転vectorの波動方程を導く。一方、回転vector波が球面波を形成しないことから、剪断波がHadamardの指摘する拡散を生じ、Huygensの原理が成立しないことを示す。
29. 祈りを照らす修道院	共	2020年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表したものの。光により醸成される祈りの空間としての修道院を提案。
30. キッカケをつくる図書館	共	2020年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表したものの。地域社会における新たなコミュニティ創出の場としての図書館複合施設の提案。
31. 子供が創るカタチ	共	2020年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表したものの。小中一貫教育の場として、様々な学習形態に対応する学校空間の提案。
32. 竹のシェル構造によるもたれ椅子「鼓乃座」	共	2020年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した竹編みシェル造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
33. 一般化ミウラ折りのリンク機構についての一考察	単	2020年9月	日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I	4価頂点平坦折り機構は古典的4節連鎖球面機構であること、それより一般化ミウラ折りの運動性および折り図パターンが求まること、厚板平坦折りがBennett機構となることを明らかにした。
34. 振動解析における複素モードおよび複素剛性に関する一考察	単	2020年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系	振動系が複素モードとなる場合、相空間の複素固有ベクトル空間はHermite 内積 (Unitary) 空間ではなく、対称双線形式の直交性を有すること、複素剛性は時間領域では因果律のない物理的には意味不明であることを述べたもの
35. 終わりと始まりの場	共	2019年09月	日本建築学会大会	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表し

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
所			学術講演梗概集, 建築デザイン	たもの。大仏でも知られる鋸山の緩やかな山麓を敷地に、斎場・葬儀場・納骨堂などを配置し、階段・スロープで繋げた作品。
36. 竹とモルタルシェルによる創作茶室「筧庵」ーシェル構造を用いた原寸大構築物の制作 その2	共	2019年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
37. モルタル左官シェル「meteo-Light」ーシェル構造を用いた原寸大構築物の制作 その1	共	2019年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したモルタル製シェル構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
38. 日本的制作論における「自然との調和」についての一考察	共	2019年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。日本庭園に関する田中正大, 増田友也, 堀口捨己, 和辻哲郎等の論考、日本文学についての唐木順三, オギュスタン・ベルクの言説から、制作論における日本の自然観を述べたもの。
39. 安藤忠雄による階段・スロープの「ギャラリー空間」についてー建築空間における階段・スロープの類型的研究	共	2019年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。安藤忠雄の建築雑誌に掲載された175作品を対象とし、建築内に計画された階段・スロープを総て類型化した。その結果、その多くは「ギャラリー空間」の構成要素として用いられていることを示したものの。近畿支部発表論文の続編。
40. 折畳み可能なレシプロカル梁組架構	単	2019年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造I	格子梁構造とは異なり、レシプロカル構造の梁組は静定構造であることを明確化し、接合部にヒンジを設けた2方向格子状レシプロカル梁組は1自由度のLinkageを有し、折畳み可能であることを示したものの。
41. 安藤忠雄による階段・スロープの「コミュニティ」についてー建築空間における階段・スロープの類型的研究 その1	共	2019年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。安藤忠雄の建築雑誌に掲載された175作品を対象とし、建築内に計画された階段・スロープを総て類型化した。その結果、その多くは「コミュニティ」形成を促す空間構成の要素であることを述べたもの。
42. 標本化定理とその応用に関する一考察	単	2019年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系	観測地震波は離散化し記録されるが、標本化定理によりアナログ波に復元出来ること、現実のフィルターにより高周波成分が歪むこと、地動の回転による影響が除去できないことを論じたもの。
43. ジャパウォックの棲む未完成なあそび園こどもたちと共に変容するあそびの空間	共	2018年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表したものの。恣意的な誘導や目的性を建築空間から解き放ち、子供の視点に立ち帰り、子供達の自発的な発見を誘発する空間を盛り込んだ設計。
44. 木造グリッドシェル構造による空間構築 その1ー2	共	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した木質グリッド構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
45. 桂離宮における石燈籠による空間構成についての一考察	共	2018年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。灯籠・飛石・蹲という庭園の3要素が桂離宮の空間構成に如何に関わっているかを論じたもの。近畿支部発表の続編。
46. 「あそび発達段階」における空間の意味形成過程に関する一考察	共	2018年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。仙田満の提唱する「あそび発達段階」を、アフオーダンス（ギブソン）、シエマ（ピアジェ）あるいは実存的空間（シュルツ）の概念から読み解いたものの。
47. 地方都市中心市街地における商業空間の小地区変遷についての研究 徳島市東新町商店街界限を対象として	共	2018年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。徳島市中心部商業市街地が戦後如何に変遷したかを地図資料および現地調査を基に論じたもの。近畿支部発表の続編。
48. 阪急京都線沿線市街地における旧集落拡大の過程について	共	2018年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。阪急京都線各駅周辺における市街地形成過程が、阪急線駅および併走するJR線駅の開業と如何に関わったかを地図資料に基づき分析し、類型化を試みたもの。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
49. 「神戸西部耕地整理事業」における事業目的の変化と水利計画	共	2018年09月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	の。近畿支部発表の続編。 ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。神戸西部（新長田駅付近）において大正期に3期に分けて実施された耕地整理事業の変遷を調査し、地割・都市計画に与えた影響を読み解き、分析するもの。
50. 神戸・南京町における中国風建築ファサードの研究	共	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	近畿支部発表の続編。 ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。神戸・南京町の街並を形成する建築ファサードの実地調査から、中国風街並を構成する要素を抽出・分類し、その出現実態を分析したもの。
51. 水平成層地盤の2次元線形モデルにおける面外振動の周波数応答関数 2次元重複反射理論	単	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造I	水平成層地盤の2次元線形モデルにおける面外振動の周波数応答関数を1次元重複反射理論を2次元に拡張して求めたもの。
52. 桂離宮の庭園要素による空間構成についての一考察	共	2018年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。灯籠・飛石・蹲という庭園の3要素が桂離宮の空間構成に如何に関わっているかを論じたもの。
53. 地方都市中心市街地における商業空間の変遷についての研究	共	2018年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。徳島市中心部商業市街地が戦後如何に変遷したかを地図資料および現地調査を基に論じたもの。
54. 「神戸西部耕地整理事業」における区割形式の変遷に関する研究	共	2018年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。神戸市南西部の条里制区画が現状の区画に至ったかを、地図資料および事業記録等に基づき耕地整理事業の区割形式の変遷から読み解いたもの。
55. 阪急京都線各駅周辺における市街地形成過程の類型化	共	2018年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。阪急京都線各駅周辺における市街地形成過程が、阪急線駅および併走するJR線駅の開業と如何に関わったかを地図資料に基づき分析し、類型化を試みたもの。
56. 水平成層地盤の2次元線形弾性モデルにおける面内振動の周波数応答関数	単	2018年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系	水平成層地盤の2次元線形弾性モデルにおける面内振動の周波数応答関数をThomson-Haskell法により求めたもの。
57. テンセグリティ構造を用いた原寸大構築物 その1 テンセグリティ構造の塔？ノ塔	共	2017年07月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
58. 水平成層地盤 1次元線形モデルのモード解析解と重複反射理論解の等価性	単	2017年07月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造I	水平成層地盤 1次元線形モデルのモード解析解と重複反射理論解が等価であることの数理的証明。
59. 厚みのある剛体折り機構の提案	共	2017年07月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造I	ゼミ配属院生との共著。厚みのあるパネルによる剛体折り機構について、新たな2案を提案。
60. 寝屋川市高柳地区における「袋小路街区」の形成について	共	2017年07月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。寝屋川市高柳地区における「袋小路街区」が都市化に伴い如何に発生したかを地図資料に基づき論じたもの。
61. 寝屋川市における「袋小路街区」の分布について	共	2017年07月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠	ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。寝屋川市高柳地区における「袋小路街区」が都市化に伴い如何に発生したかを地図資料に基づき論じたもの。
62. テンセグリティ構造を用いた原寸大構築物 その2 テンセグリティ構造と膜構造を併用した構築物 Turban Shell	共	2017年07月	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
63. テンセグリティ構造を用いた原寸大構築物	共	2017年07月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系	建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。
64. 水平成層地盤の2次元	単	2017年06月	日本建築学会近畿	Thomson-Haskell法による水平成層地盤の2次元線形モデルにおける

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
元線形モデルにおける面外振動の厳密解	単	2016年06月	支部研究報告集、構造系	面外振動のモード解析を求めたもの。
65. 連続体の動的解析における空間離散化の問題点	単	2016年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集、構造系	連続体の動的解析における有限差分法など空間離散化解析手法において生じる分散現象について述べたもの。
66. 時刻歴解析における時間離散化の問題点（時刻歴ハイレゾ化の勧め）	単	2015年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集、構造系	地震観測波の（標本化）時間離散化に伴う時刻歴応答解析の数値計算誤差を論じたもの。
67. 地震応答解析における離散化の問題点	単	2014年09月	日本建築学会大会学術講演会、構造I	地震応答解析における時間および空間離散化に伴う問題点の概要を論じたもの。
68. 線形振動応答解析法の再考察	単	2014年05月	日本建築学会近畿支部研究報告集、構造系	時刻歴応答解析法の数理的根拠と数値誤差を再考察したもの。
69. Wave propagation in one dimensional elasto-plastic media	共	1975年11月	日本地震工学ソブゾウム 第4回 論文集	小堀鐸二・鳥巢茂樹（修士論文を発表論文に纏めたもの）：P-S波合成降伏を考慮した1次元弾塑性体中の特性曲線法に依る波動伝搬解析。
70. 1次元弾塑性媒質中の波動伝搬解析	共	1975年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、構造系	小堀鐸二・鳥巢茂樹（修士論文を発表論文に纏めたもの）：P-S波合成降伏を考慮した1次元弾塑性体中の特性曲線法に依る波動伝搬解析。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. スラブ連続鋳造設備建屋の設計		2008年		国内最大級の溶鋼取鍋クレーンの走行する建屋の構造設計。走行クレーンは幅29m、BH-4400 x 1250。
2. X線自由電子レーザー施設の構造基本設計		2006年		世界2番目のX-FEL施設。全長700mに亘る精密機器を収納する建屋の基礎・躯体の基本設計。
3. 海水淡水化施設建屋の設計		2005年		国内最大の海水淡水化施設。航空管制施設に隣接するため、半地下として高さ制限をクリア。
4. 粒子線治療施設建屋の設計		1999年		設計当時国内に数例しかなかった施設で、設備を放射線遮蔽の厚いコンクリートで囲んだ建物。
5. 海底光ケーブル製造工場		1995年		世界最大級の海底光ケーブル工場。横浜から移転のため、工場建物群一式を設計。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2022年8月3日～2023年3月31日	西宮市立学校施設整備設計等事業者選定委員
2. 2022年3月15日～2022年3月31日	神戸市学校給食センター整備・運営PFI事業者選定委員会委員長
3. 2021年11月～2022年9月	茨木市中学校給食センター整備運営事業者候補者選定委員会副委員長
4. 2019年7月23日	スパーサイエンスハイスクール授業
5. 2019年5月～2019年7月	加古川市学校給食センター整備運営事業者選定委員会委員長
6. 2019年4月～2019年11月	尼崎市立学校給食センター整備運営事業者選定委員会副委員長
7. 2018年10月03日	スパーサイエンスハイスクール授業
8. 2017年11月～2018年10月	加古川市学校給食センター整備運営事業者選定委員会委員長
9. 2016年10月04日	スパーサイエンスハイスクール授業
10. 2016年04月～2019年01月	西宮市営住宅建替PFI事業者等選定委員